

KE会星野尚美記念 薬学研究・活動助成金 受給者一覧

※回生の記載がない場合は他大卒

年度	氏名 回生 (卒年 院修了年)	研究・活動題名	所属機関・職名 (申請時)
2025	山元 智史 83回生 (2017卒 2022院後修了)	PSAT1発現上昇によるがん細胞由来エクソソーム分泌異常と転移リスクマーカー評価方法の検討	国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 研究員
	鈴木 真由 88回生 (2022卒)	抗体医薬品投与時のInfusion-related reactionに対する非鎮静性抗ヒスタミン薬の予防効果の検証	慶應義塾大学大学院 薬学研究科 博士課程3年
2024	市川 大樹 68回生 (2002卒 2007院後修了)	内在性dsRNAを標的とした難治性マンツル細胞リンパ腫に対する新規治療法の開発	慶應義塾大学薬学部 助教
	樋口 慧 72回生 (2006卒 2011院後修了)	高感度化学発光アッセイを利用したオーファンモノカルボン酸トランスポーター (MCT)の基質・阻害剤スクリーニング	東京薬科大学 講師
	野々宮 悠真 81回生 (2015卒 2019院後修了)	高度管理医療電解水生装置を活用した清潔区域の新規清掃法の検証	がん研究会有明病院 薬剤師
	小林 文 (2007院前修了)	薬剤師に対する国民からの評価と薬剤師養成教育との関係に関する教育	昭和大学薬学部 講師
2023	熊谷 智樹 88回生 (2020卒)	カンナビジオールから他のカンナビノイド類への生体内変換に関する研究	昭和大学病院薬剤部 病院薬剤学講座 助教 (薬科) 昭和大学薬学研究科 博士課程
	武田 健吾 88回生 (2020卒 2022院前修了)	RNAヘリカーゼDDX5阻害剤FL118を用いた慢性骨髄増殖性腫瘍 (MPN)の新規治療法の開発	慶應義塾大学大学院薬学研究科 衛生化学講座 博士後期課程1年
2022	小西 公子 43回生 (1977卒 2010院後修了)	新しい抗コリン測定法を用いた薬物の抗コリン作用の解析	聖マリアンナ医科大学 研究員
	横山 威一郎 69回生 (2003卒 2005院前修了)	患者転帰を指標とした院外処方箋への臨床検査値表記の有用性評価	千葉大学医学部附属病院 薬剤主任
	稲垣 舞 80回生 (2014卒 2020院後修了)	プロドラッグを基盤とする脳クレアチン欠乏症治療薬の開発	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 (薬学域) 助教
	森崎 祐太 80回生 (2014卒 2016院前修了)	免疫疲弊に着目した筋萎縮性側索硬化症の病態解析	慶應義塾大学薬学部 薬理学講座 助教
2021	寺山 和利 69回生 (2003卒 2007院前修了)	ビッグデータを用いたがん患者におけるNSAIDs外用剤有用性の検討	帝京大学薬学部 薬学実習推進研究センター 助教
2020	中澤 洋介 69回生 (2003卒 2005院前修了)	老眼発症の解明と抗老眼薬創製の基盤研究	慶應義塾大学薬学部 専任講師
	鷲見 和也 75回生 (2009卒 2011院前修了)	慢性骨髄性白血病を標的としたジカチオン型フラレン誘導体の抗腫瘍活性の分子メカニズムの解明	慶應義塾大学大学院薬学研究科 医薬品化学講座 博士後期課程1年 ノバルティスファーマ(株)メディカル本部
	川村 ひとみ 80回生 (2014卒)	子供に抗菌薬が処方されなかったことを受け入れられない母親の抗菌薬に対する期待	(独)労働者健康安全機構東京労災病院 薬剤部 昭和大学薬学研究科社会健康薬学講座
2019	中込 泉 55回生 (1989卒 1991院前修了)	コーシエ病治療を目指したグルコセレブロンターゼの立体構造安定化に働くアロステリック性ケミカルシャペロンの探索	北里大学 助教
	多胡 めぐみ 64回生 (1998卒 2003院後修了)	葉酸代謝拮抗作用を介さない新たなメトトレキサートの抗腫瘍活性作用メカニズムの解明	慶應義塾大学薬学部 衛生化学講座 准教授
	村上 勲 (2006院後修了)	フランチ拡散セルを使用した非ステロイド系抗炎症薬からの薬物放出性・放出挙動に関する研究	帝京大学 薬学部 講師
	今井 俊吾 78回生 (2012卒 2018他院後修了)	Neural Networkを用いた副作用発現予測モデル構築に向けた基盤研究	北海道大学病院 薬剤部
	柴崎 智香子 84回生 (2018卒)	広範な反応性代謝物を捕捉する新規蛍光標識トラッピング剤の創製	慶應義塾大学大学院薬学研究科 医薬品化学講座 博士課程1年
2018	松谷 美樹 52回生 (1986卒)	薬を服用する際の子どもの苦手意識を克服させるための絵本の創作とその活用	さやま富士見薬局 管理薬剤師
	野口 幸希 78回生 (2012卒 2017院後修了)	霊長類特異的胎盤関門輸送体OAT4によるヒト特異的胎児毒性発現機構の解明	慶應義塾大学薬学部 助教